



市政同志会

(質問者：渡邊 澄夫 議員)

文化交流拠点について

問 合併時の先導的プロジェクトの一つである古河駅東部土地区画整理事業を早期に完成させるためには、地内の文化交流拠点を完成させることが先決である。1万人の署名が集まった文化センターの建設と、老朽化した古河体育館の機能を合わせた複合施設をつくることにより、利用度、利便性が上がっていくと考える。またシンプルで維持

費のかからない、文化ホール、図書館、体育館などの複合施設が求められている。そこで、古河駅東部土地区画整理事業の今後の進め方と文化センターの建設構想について伺う。

答 (市長) 古河駅東部土地区画整理事業地については、新市建設計画の土地利用構想の中で文化交流拠点として位置づけられている。同事業地については新年度の早い時期に用途についての方針を決定し、文化交流拠点の形成を着実に進めていく。文化施設については、市が茨城県県西地域の中心的都市として市民が豊かに暮らしていく上で必要である。しかし、行政の思いだけではなし得ないものであり、市民の気運の醸成が何より大切

であると認識している。先導的プロジェクトの一つである文化交流拠点の整備については、昨年実施した市民アンケートの結果や分析結果を踏まえ、これまでの計画の位置づけから事業を推進するものではなく、あらゆる機会を通じて市民からのご意見を伺いながら推進していきたい。また、スポーツ施設機能を含む複合施設が有用なのか、どのような図書館が良いのか、ファシリティマネジメントの観点も含めて検討し、古河市に合ったものをつくり上げていきたい。



真政会

(質問者：黒川 輝男 議員)

施政方針について

問 ①市民ファーストのまちづくり（避難所設置の具体策、新駅整備）について②文化交流拠点の形成について③戦略方針の中の上辺見保育所西側の土地利用について④国土強靱化計画を具体的にどのように進めていくのか⑤都市基盤整備における区画整理、新駅整備について⑥シティプロモーション課新設の内容、以上について伺う。

答 (市長) ①一時的な垂直避難場所を指定してはいるが、市では逃げ遅れゼロを目指し、自分にとって最も安全なタイミングで水平避難を推奨している。先導的プロジェクトである新駅設置をスピード感をもって推進するための財源として、合併後初めて新駅設置準備基金を積み立てる補正予算を計上した。②変化するまちづくりの将来ビジョンに対応するため、公共利用や民間活用などの手法をもって推進する。また、特定目的基金を明確に管理・運用し、市民にしっかりと示していく。③現時点の計画案では、さまざまな整備手法に柔軟に対応しながら、子ども家庭総合支援センター等を設置し、子育て拠点施設の整備を進めたい。④今後、計画に基づ

く各分野の施策を展開していくため、事業に対する評価、分析による施策方針やPDCAサイクルで進捗管理を行い、効果的な施策の推進につなげていく。⑤新駅周辺の区画整理事業と（仮称）南古河駅設置は密接な関係にあり、新駅設置の可否がまちづくり方針に大きく影響するため歩調を合わせ事業に取り組んでいく。⑥広報業務、統一かつ重点的な情報発信、魅力度向上のための企画調整を行い、市をプロモートしてブランド力を高め、マーケティングして営業していくための戦略的な情報を積極的に発信していく。

